JOB No. 13

老人ホームやグループホームなどの
運営や職員の管理を行う

施設長

この仕事のキーワード

- □ 福祉
- □ 介護
- □ 高齢者
- □ ケア
- □ 老人ホーム
- □ 施設運営

こんな人に向いています

- □ 心は熱く、頭は冷静な人
- □ 人が好きな人
- □ 思いやりの心がある人
- □ 感情を受け止められる人
- □ 福祉や介護の知識がある人
- □ 経営の知識がある人

▶▶ 職場ではこんな人も働いています

● 生活相談員 ● 看護職員 ● 支援員 ● 介護職員 ● 栄養士 ● 調理員
● 作業療法士 ● 営繕職員 ● 事務員



高齢者と職員が安心して過ごせる施設をつくる

老人ホームの施設長は、高齢者の方々が楽しく安心して生活できる施設をつくるとともに、職員が安心して働ける環境を整える仕事です。職員が不足している時には募集・採用を行い、毎月の給料をきちんと支払えるよう、収入と支出のバランスを考えながら施設を運営します。また、地域とのつながりも大切にし、地元の小中学校で車いす体験や高齢者疑似体験などを行い、福祉や介護について知ってもらう活動にも取り組んでいます。

CHECK

私がこの仕事に就いたきっかけ

就職を考えるようになった時、自然と福祉の仕事が頭に浮かびました。ふり返ると、小学生のころから特別支援学校の子供たちや地域の障がいのある方々と接する機会が身近にあり、そうした環境で育ったことが福祉の道を選ぶきっかけになったと思います。

入職 30 年目　岡本さん



施設長の仕事内容

施設運営

収入と支出のバランスを考えながら、施設全体を運営します。職員や利用者の確保に取り組むほか、エアコンやベッドなどに設備投資を行い、環境を整えます。



人材育成

面談や会議などを通して、職員の知識や意欲を高めます。身体拘束・虐待防止など、介護の現場で必要となる知識を学ぶ研修も行い、人材を育成します。



協働

老人福祉施設協議会などの団体活動に参加します。研修や会議、事例発表を通して業界の現状や課題を共有し、ほかの施設と協力しながら業界の発展に取り組みます。



地域貢献、交流

地域の人に福祉や介護を知ってもらうため、月1回の認知症カフェを開催します。小中学校では車いす体験や高齢者疑似体験などを行い、地域との交流を深めます。



CHECK

必要な資格・スキル

- 介護の現場を知るために、介護福祉士や社会福祉士などの資格があると役に立ちます。
- 施設長になるための要件は施設によって異なりますが、社会福祉主事任用資格や福祉の仕事にたずさわった経験年数などが必要になります。



あなたに寄り添う、わたしがいます。いっしょに笑い、支える誇りとよろこび。

山口県老人福祉施設協議会

山口市大手町9-6　TEL／083-924-2799

創業／1972年5月　会員数／169施設

山口県老人福祉施設協議会
Yamaguchi Council of Senior Citizens WelfareService

HP



山口県老人福祉施設協議会ではこんな仕事をしています



研修会等の開催

高齢者を支える職員の知識や技術を高めるため、ＩＣＴの活用やリーダー育成など、様々なテーマや職員の経験・役割に合わせた研修会を開催しています。





調査研究・広報活動

介護現場への理解と共感を深めてもらうため、介護に関するフォトコンテストを開催しています。また、広報誌やホームページを通して、様々な情報を発信しています。



政策提言（要望）活動

老人福祉施設の経営や運営に関する課題について、会員施設から意見を集めます。現場の声をまとめ、よりよい福祉につながるよう、国や県、市町に要望を伝えています。



交流促進事業

施設を利用する高齢者同士の交流を深め、健康づくりや生きがいにつなげるため、「山口県老人ホームグラウンド・ゴルフ大会」などの交流行事を開催しています。

「老施協DWAT（災害派遣福祉チーム）」での活動

大規模な地震や豪雨などの災害が起きた時、被災した地域の高齢者や福祉施設を支援する「全国老施協DWAT」に参加しています。福祉の専門職が被災地に入り、困っていることや必要な支援を確認し、それぞれの状況に合わせた支援を行います。また、災害に備えて、ふだんから施設の防災への対応力を高める活動にも取り組んでいます。



